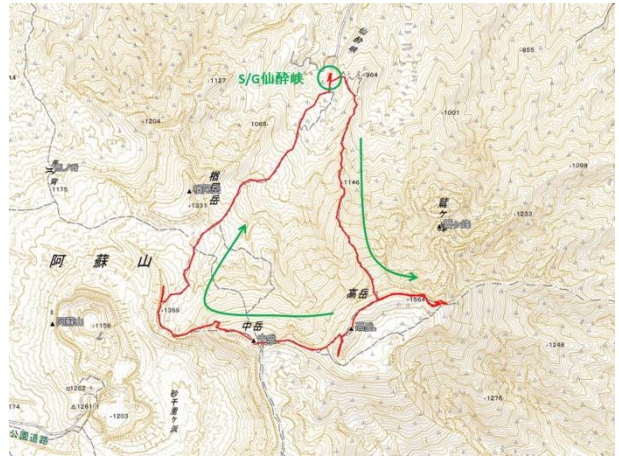


## 阿蘇：高岳 中岳

- ◆日程 2023年11月3日(金祝)
- ◆メンバー L:OT
- ◆天候 晴れ

九州遠征2二日目は5時起床。季節外れの暖かさもあって、快適な眠りとなった。起き抜けで最寄りの登山口である仙酔峡に向かった。駐車場はまだガラ空き。準備の間に東の空が少しずつ明るくなってきた。予定通り出発。初めは緩やかな斜面だったが、高度が上がるほどに急登に代わっていく。ここ仙酔尾根はバカ尾根とも呼ばれるらしい。無心に登るうちに火口壁に乗った。ここで高岳とは反対方向に東峰がある。眺めが良さそうなので寄り道。ここからは昨日登った祖母山が良く見える。阿蘇の北にある外輪山は朝日に照らされ、外輪山後方には明日登る九重連山の広大な稜



線。外輪山手前の麓は薄い雲海状に霧がかかっている。西に向き直って高岳山頂へ。阿蘇の最高点だ。全方向の展望を満喫して中岳へ。山頂に近づくほどに火口がはっきり見えてきた。火口反対側の縁には道路と駐車場が。中岳から火口東展望所までは豪快な火口を間近に見ながら進む。展望所から先はロープウェイ跡を辿る。正面の九重を眺めながらゴール。下山後は、バッジ購入のため再び道の駅阿蘇に。観光客でごった返している。赤牛のローストビーフ弁当をゲットした。が、うっかり電子レンジにかけてしまい、焼き肉に味変…。



下山後は竹田市の岡城址へ。滝廉太郎の『荒城の月』で知られる難攻不落の名城だ。崖の上に石垣を築いているため、よほどのクライマーでなければ外からの侵入は不可能。上から石を落とせば簡単に防げる。建物が無くなっている分、想像が膨らみワクワクする。城の西端からは、左から順に傾-祖母-阿蘇-九重が地平に連なって見える(写真下)。城マニアでない私からもお勧めだ。近くの温泉「花水月」で汗を流し、「竹田丸福」で唐揚げを頬張り、九重山の登山口である牧ノ戸峠へ移動。既に駐車場は半分くらい埋まっている。早目に就寝。(記:OT)

CT: 道の駅阿蘇=仙水峡 6:25 - 高岳東峰 7:50 - 高岳 8:15/8:25 - 中岳  
8:45/8:55 - 火口東展望所 9:20 - 仙酔峡 10:00=岡城址=牧ノ戸峠(泊)

